

3 木材価格の動向

(1) 素材価格（丸太価格）（表18、図13）

素材価格は、国産材は住宅需要が前年に続きやや回復したことなどから、平成23年平均ではおおむね前年に比べて上昇した。外材についても同様に上昇傾向となったが、北洋材の上昇についてはロシア政府の輸出税率の引上げの影響もあった。

また、品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア 「まつ中丸太」（径24.0～28.0cm、長3.65～4.0m）は、年の途中が低下傾向で推移したものの、年の当初及び後半で上昇傾向で推移し、年平均（1㎡当たり。以下同じ。）では1万4,800円で前年に比べて1,900円上昇した。

イ 「すぎ中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、年の途中が低下傾向で推移したものの、年の当初及び後半で上昇傾向で推移し、年平均では1万2,300円で前年に比べて500円上昇した。

ウ 「ひのき中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、年の途中が低下傾向で推移したものの、年の当初及び後半で上昇傾向で推移し、年平均では2万1,700円で前年に比べて100円上昇した。

エ 「米つが丸太」（径30.0cm上、長6.0m上、No. 3）は、年間をとおして比較的上昇傾向で推移し、年平均では2万4,400円で前年に比べて200円上昇した。

オ 「北洋えぞまつ丸太」（径20.0～28.0cm、長3.8m上）は、年間をとおして上昇傾向で推移し、年平均では2万4,700円で前年に比べて700円上昇した。

表18 素材価格

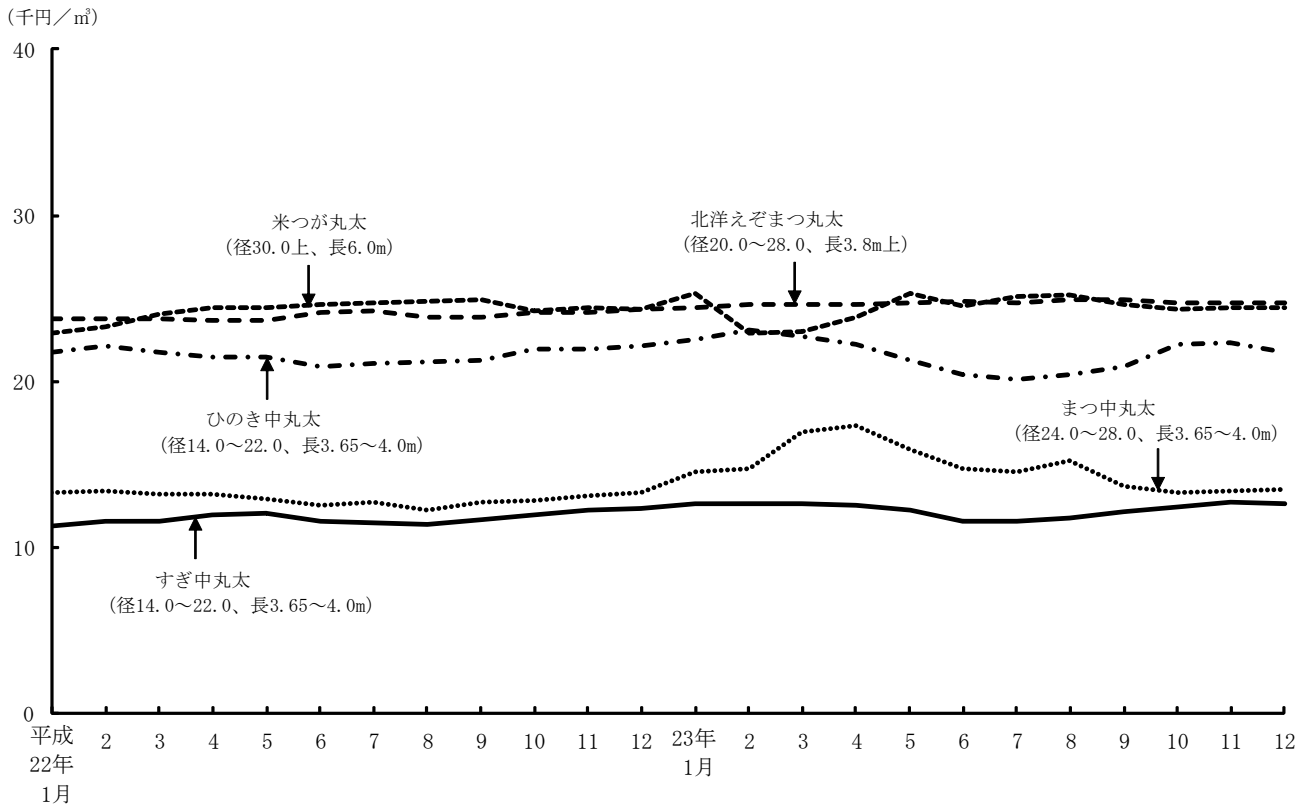
単位：円/㎡

年次	まつ	すぎ	ひのき	米つが	北洋えぞまつ
	中丸太	中丸太	中丸太	丸太	丸太
	径 24.0～28.0 cm 長 3.65～4.0 m	径 14.0～22.0 cm 長 3.65～4.0 m	径 14.0～22.0 cm 長 3.65～4.0 m	径 30.0 cm上 長 6.0 m上	径 20.0～28.0 cm 長 3.8 m上
	込 み	込 み	込 み	No. 3	込 み
平均価格					
平成19年	15,200	13,300	25,500	1) 27,200	23,600
20	14,300	12,200	23,600	27,300	23,000
21	13,200	10,900	21,300	23,500	24,400
22	12,900	11,800	21,600	24,200	24,000
23	14,800	12,300	21,700	24,400	24,700
対前年差					
平成20年	△ 900	△ 1,100	△ 1,900	100	△ 600
21	△ 1,100	△ 1,300	△ 2,300	△ 3,800	1,400
22	△ 300	900	300	700	△ 400
23	1,900	500	100	200	700

注：平成23年の価格（米つが丸太及び北洋えぞまつ丸太を除く。）は、1月～2月及び9月～12月の価格は岩手県、宮城県及び福島県分を含む価格を用いて、3月～8月の価格は岩手県、宮城県及び福島県分を含まない価格を用いて算出を用いて算出している。

1) が付いている価格は、調査対象工場への消費税の取扱いの確認が困難なため、消費税を含む価格と含まない価格を集計した結果である。

図13 素材価格の推移



(2) 木材製品卸売価格 (表19、図14)

木材製品卸売価格は、国産材製品は年の前半において新設住宅着工戸数が増加し、後半において減少はあったものの、平成23年平均ではおおむね上昇傾向となった。外材製品についても同様に上昇傾向となった。

また、品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア 製材品

- (ア) 「まつ平角」(厚10.5~12.0cm、幅24.0cm、長3.65~4.0m)は、年間をとおして安定して推移し、年平均では6万200円で前年と同じだった。
- (イ) 「すぎ正角」(厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m)は、年の前半が上昇傾向で推移し、後半で低下傾向となったものの、年平均では4万3,600円で前年に比べて2,000円上昇した。
- (ウ) 「ひのき正角」(厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m)は、年の前半が上昇傾向で推移し、後半で低下傾向となったものの、年平均では6万6,600円で前年に比べて1,700円上昇した。
- (エ) 「米つが正角(防腐処理材)」(厚12.0cm、幅12.0cm、長4.0m)は、年間をとおして比較的上昇傾向で推移し、年平均では6万6,300円で前年に比べて200円上昇した。
- (オ) 「北洋えぞまつ板」(厚1.2~1.5cm、幅15.0cm、長3.65~4.0m)は、4月に大きく上昇した以外は年間をとおして安定して推移したことから、年平均では6万4,800円で前年に比べて800円上昇した。

イ 合板

「針葉樹合板」(厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m)は、年の前半が上昇傾向で推移し、後半でやや低下傾向となったものの、年平均では1,140円で前年に比べて230円上昇した。

表19 木材製品卸売価格

年次	まつ平角	すぎ正角	ひのき正角	米つが正角 (防腐処理材)	北洋えぞまつ板	針葉樹合板
	厚 10.5~12.0 cm 幅 24.0 cm 長 3.65~4.0 m	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 12.0 cm 幅 12.0 cm 長 4.0 m	厚 1.2~1.5 cm 幅 15.0 cm 長 3.65~4.0m	厚 1.2 cm 幅 91.0 cm 長 1.82 m
	2 級	2 級	2 級	2 級	1 級	1 類
	円/m ³	円/m ³	円/m ³	円/m ³	円/m ³	円/枚
平均価格						
平成19年	1) 54,300	42,900	69,600	68,300	1) 61,100	1,370
20	60,200	42,400	67,900	67,900	59,700	990
21	60,200	41,700	66,300	66,800	64,200	860
22	60,200	41,600	64,900	66,100	64,000	910
23	60,200	43,600	66,600	66,300	64,800	1,140
対前年差						
平成20年	5,900	△ 500	△ 1,700	△ 400	△ 1,400	△ 380
21	0	△ 700	△ 1,600	△ 1,100	4,500	△ 130
22	0	△ 100	△ 1,400	△ 700	△ 200	50
23	0	2,000	1,700	200	800	230

注： 1) が付いている価格は、調査対象工場への消費税の取扱いの確認が困難なため、消費税を含む価格と含まない価格を集計した結果である。

図14 木材製品卸売価格の推移

